

PATENT Attorney

日本弁理士会広報誌

2016

●「PATENT ATTORNEY」は
「弁理士」のことです。



VOL. 84

ヒット商品を支えた 「SOLAR SPEC」

◎ヒット商品として生まれた

- シリーズ特産品(大分麦焼酎)
- 知つておきたい!この技術トレンドでつく(ナノ塗装)
- 知財TOY BOX
- 知的財産権なんでもQ&A
- 漫画「なすびくんのお仕事」
- 特許庁からのお知らせ
- JPAA Information



明治日本の産業革命遺産
三池炭鉱万田坑／熊本県
※明治から戦後まで日本の経済成長を
牽引した、炭鉱施設のシンボル。



日本弁理士会マスコットキャラクター
「はっぴょん」

Q 掃除機の新しいデザインを創作しましたが、意匠登録出願すべきか悩んでいます。物の形状等のデザインは著作権や不正競争防止法でも保護が可能であると聞きましたが、意匠権を取得する必要はあるのでしょうか？

A 結論からいえば、本デザインを適切に保護したいのであれば、意匠登録出願することをお勧めします。物の形状等のデザインは著作権や不正競争防止法でも保護が可能ですが、一定の制約があるからです。

まず、著作権についてですが、著作権の保護対象となる著作物は、彫刻などの美術工芸品や建造物などであり、掃除機のような工業製品は、原則として著作物とは認められません。そのため、本デザインを

著作権で保護することは難しいです。

また、不正競争防止法が適用されるのは、本デザインが模倣された場合に限られ、かつ、そのデザインはほぼデッドコピーでなければなりません。

他方、意匠権は、デザインが類似している場合にも効力が及ぶうえに、第三者が模倣した場合に限らず、偶発的にデザインが似ている場合でも効力が及びます。

このように、本デザインの保護には、特段の制約なく権利の行使が可能である意匠権が最も適していると考えますが、意匠登録するには登録要件を満たす必要がありますので、具体的な方針は、お近くの弁理士にご相談されることをお勧めします。

◎このコーナーでは知的財産権に関する皆さまの質問にお答えします。質問事項を記載して、下記の住所にハガキ、FAX.03-3519-2706又はメール panf@jpaa.or.jp で日本弁理士会 広報・支援室「Q&A係」までお送りください。

阪間和之(作) 飯岡菜子(画)



特許庁からのお知らせ

海外での知財訴訟リスクを減らしませんか

特許庁は、中小企業が海外の知的財産侵害の係争に巻き込まれた場合に対応するため、**海外での知的財産訴訟費用を賄う団体保険制度を創設**し、中小企業の加入時の掛金の1/2を補助しています（平成29年2月1日始期分まで）。海外展開時の知財のリスク対応への支援策です。

○補助対象

日本商工会議所の会員企業、全国商工会連合会の会員企業、全国中小企業団体中央会の会員組合に加盟する企業であって、中小企業基本法で定める中小企業

○募集期間

随时 ※平成29年2月1日始期分まで中途加入が可能

○保険期間

毎月1日 午前0時から平成29年6月30日 午後12時

◆本保険の申し込み方法等につきましては、以下のページをご覧ください。

https://www.jpo.go.jp/sesaku/shien_sosyou_hoken.htm

※検索エンジンで「特許庁 海外知的財産訴訟費用保険」でも検索できます。

テレビ番組 ラジオ番組 の放送について

テレビ番組「PATやってみた！」

平成28年10月から平成29年1月初旬まで、中国地方の5県において「PATやってみた！」を放映中です。

この番組では企業の知的財産にスポットを当て、その可能性に挑戦する様子を約3分間の映像にまとめています。また、弁理士及び知財制度についてコミック形式で紹介するコーナーもございます。

番組は、放映終了後に当会ホームページの特設ページでご覧いただけます。

※特設サイト <http://www.jpaa.or.jp/tv/>

ラジオ番組「こちら知的財産相談室」「おしえて！はっぴょん」

平成28年10月から平成29年3月まで、中央FM(東京都のコミュニティFM)にて放送中です。

「こちら知的財産相談室」では弁理士とパーソナリティのやり取りを通して、また、「おしえて！はっぴょん」ではタレントの藤原麻里菜さんのユニークな発明品をネタに、それぞれ弁理士が知財制度をわかりやすく説明しています。

番組は、放送終了後に番組特設ページでお聴きいただけます。

※特設サイト <http://benrishi-radio.jp/>

**JPA
Information**

※中国地方の、以下のTV局で放映しています。

テレビ新広島／毎週金曜日 22:52～放送
岡山放送／毎週水曜日 21:54～放送
山陰中央テレビ／毎週日曜日 21:54～放送
テレビ山口／毎週曜日 22:54～放送

※中央エフエム(84.0MHz)で放送しています。

「こちら知的財産相談室」毎週 月・水・金曜日
11:55～12:00、14:55～15:00(再放送)
「おしえて！はっぴょん」毎週 火・木曜日
11:55～12:00、14:55～15:00(再放送)

全ての機器を一体化した 配電盤システム

SOLAR SPEC

特許 第5177782号
第5761885号 ほか
商標登録 第5812560号 ほか



温度や盤筐体内の温度が変化する。この温度を一定に保つために、エアコンのセンサー位置をさまざまに試したという。「次の受注も来ていましたから、最初に納入したシステムに通いつめて1ヶ月ほどで調整しました」と、同社企画開発部課長・プロジェクト推進室長の石本光さんは語る。通常、配電盤は顧客の仕様に合わせて個別につくるが、全ての機器を一体化して販売する「SOLAR SPEC」はカスタマイズしないという。位置づけだつたため、「最初の設計に問題があれば、全部回収することになる」という。プレッシャーもあつたそうだ。

「SOLAR SPEC」だが、当初から社内で賛同を得られていたわけではないという。本家さん、石本さんは営業部の部長、四国営業課長の肩書きも持つが、「最初は営業部が勝手にやっていると思われていた」と一人は振り返る。

「SPEC」は、現在、16機種までラインナップを増やしている。海外で小型かつ安価な配電盤や太陽光発電所向けの機器が続々と開発され、太陽光発電を巡る技術やトレンドの変化は大きい。こ

株式会社 Wave Energyの太陽光発電所向けパワー・コンディショナー（パワコン）、高压盤、変圧器を組み合わせた配電盤システム「SOLAR SPEC」は、2012年の市場投入から4年間で売上げを6倍に伸ばし、今や同社の売上げの約8割を占める事業の柱となっている。「SOLAR SPEC」はパワコン、高压盤、変圧器等を一体化したこと、従来のシステムより大幅な省スペース化、コストダウンを実現した。この「SOLAR SPEC」の最大の特徴であり、特許性が認められたポイントは、盤筐体に外から取り付けられた変圧器側に、盤筐体内の高压盤を配置した点だ。また、これにより、

冷却に要する電力を大幅に低減できると同時に、メンテナンス性が向上した。配電盤メーカーだった同社が太陽光発電所向け製品の開発に取り組むきっかけは、2009年に自社工場に太陽電池パネルを設置したことだった。太陽電池パネルの施工・設計について、取引のあつた大手電機メーカーに社員を派遣して学んだという。四国電力の松山太陽光発電所が2010年に四国初のメガソーラー発電所に増設される際、接続盤を受注したことから太陽光発電事業に本格参入し、さらにパワコンのメーカーと技術交流をするなど、開発に向けた知見を高めていった。

「圧器は、盤筐体の外に配置すると決めた」と言うのは、開発を率いた専務取締役・企画開発部長の本家正雄さんだ。変圧器メーカーに専用品の開発を依頼し、変圧器に目指す機能を持たせた。このような機能を持つ変圧器、高圧盤、パソコン等の機器を一体化しつつ、高圧電流の流れる高圧ケーブルを極力短くしてメントナンスしやすい配置を開発する上では、配電盤メーカーとしての経験が活かされている。

難しかったのは、未知の領域だった盤筐体内の熱の制御だった。シミュレーションでは太陽電池パネルが100%発電発電量が大きく変動し、パソコンの発熱

うした多様な流れにも対応し、海外も視野に入れた「SOLAR SPEC」の展開をしていく上で、特許や商標は同社の技術を守る大きな強みとなつている。



写真提供:大分県酒造組合

大分県は元々、清酒圏で生産量・消費量ともに清酒が主流という時代が長く続いていました。本格焼酎は1970年代半ばまで清酒の粕を使った粕取り焼酎で、当時、粕取り焼酎の生産量も蔵元の数も福岡県に次いで2番目でした。その粕取り焼酎は原料に米麹を使っていましたが、県内のある蔵元がすぐれた麦麹の開発に成功し、麹も仕込みも大麦という「麦100%」の大分麦焼酎が誕生しました。

麦だけでつくったこの焼酎は、低温減圧蒸留で麦の香ばしさを出しながらも、クセのないすつきりとしたあたりのよい味わいが、東京などの都市部の消費者の嗜好にマッチし、その後、瞬く間に大分麦焼酎は全国に一大ブームを巻き起こしました。

80年代に入つて、本格麦焼酎の生産量は急激に増え、清酒を逆転しました。麦100%の「大分麦焼酎」は、いまや大分の特産品の一つに数えられ、平成19年に地域団体商標登録をしています。また、大分の麦焼酎生産量は、全国一を誇っています。

面積の7割が山地、山林を占める大分県。その山々に端を発する多くの水系が清流となつて海へ注いでいます。大分の麦焼酎は、この豊かな水と良質の原料、それに研究開発した製造技術によって醸されています。

大分の麦焼酎は、これまで主として減圧蒸留でクセの少ない飲みやすいタイプが主流でしたが、最近では常圧蒸留でコクのあるタイプも注目されて、本格焼酎の人気の牽引に一役買っています。

*このコーナーに掲載御希望の方は、“特產品”的プロフィール・連絡先を FAX:03-3519-2706 又はメール:panf@jpaa.or.jp までお送りください。

第9話

特許庁前の幻の瀧



かつて虎ノ門から赤坂にかけ江戸城の外堀の一部を構成する、溜池と呼ばれる貯水池がありました。そして、その東端には溜池の水が流れ落ちる「葵ヶ岡の瀧」と呼ばれる瀧が作されました。葛飾北斎や安藤広重も、この瀧のある風景を描いています。虎ノ門にある特許庁から外堀通りを渡った反対側には未だ江戸城、城壁の一部が残っています。広重の浮世絵とこの城壁の位置を重ねてみると、まさに瀧があった場所は特許庁の真ん前であったことがわかります。もし皆さんが特許庁や隣の日本弁理士会にいらっしゃる機会がありましたら、目の前にドウドウと音を立てて水が落ちる瀧があったことを想像してみて下さい。きっと風景が違って見えることでしょう。

(弁理士 中川裕幸)



知っておきたい!この技術

トレンドマッカク

シリーズ
26

ナノ塗装



ナノテクノロジーは塗装の分野でも大きな変革をもたらしている。建物の外装用水性塗料では、エマルジョン樹脂を超微粒子にした製品が市場に投入されている。その特徴として撥水性による防汚効果や耐候性、耐熱性などが挙げられる。さらに無機質のシリカ(二酸化ケイ素)を含む樹脂、あるいはシリカを樹脂で包んだ超微粒子で塗膜を形成するなどの新技術で防汚性、防カビ性などの機能を高めたものもある。

同様の技術を用いたコーティング剤も開発されており、自動車産業では欧米の製品が導入されている。防汚・防錆効果のほか、傷つきにくいなどのメリットもある。さらに撥水性、撥油性に優れたコーティング剤は洗車不要の自動車を実現するとして注目されている。

塗料やコーティング剤でナノ粒子の製品が抱える課題は、高コストと塗装の難しさである。コストの低減につながる樹脂などの研究も重要だが、需要を高めるには塗装現場における作業の容易性も求められているようだ。すでに産学協同研究から生まれた製品もあり、そうしたアプローチも有効だろう。